

中央教育審議会答申（2008年12月）

1. 基本的な認識

1. 学士レベルの資質能力を備える人材養成
2. 目先の学生確保にとらわれず、大学や学位の水準、国際的通用性を保持
3. 自主的な改革で学士課程教育における方針の明確化等を推進

学位授与の方針

[課題]

「何を教えるか」から「何ができるようになるか」

教育研究目的が抽象的

方針と教育課程がかい離

大学の多様性は進んだが、最低限の共通性は軽視

1. 国は学士力に関する参考指針を提示

1. 知識・理解

2. 汎用的技能

3. 態度・志向性

4. 総合的な学習経験と創造的思考力

2. 大学は、学位授与の方針を具体化し公開

学士力とは何か(参考指針)

- 知識・理解: 専門基本知識の体系的理解、多文化・異文化・人類の文化・社会と自然に関する知識の理解
- 汎用的技能: 知的活動・職業生活・社会生活で必要な、コミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力
- 態度・志向性: 自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、生涯学習力
- 総合的な学習経験と創造的思考力: 総合的課題解決能力

従来の大学教育では不足の傾向

JABEEにおける学習・教育目標

- a. 地球的視点からの多面的思考能力と素養
- b. 技術者倫理
- c. 数学・自然科学・情報技術の知識と応用能力
- d. 専門知識と問題解決への応用能力
- e. 社会の要求を解決するデザイン能力
- f. 日本語コミュニケーション能力と国際コミュニケーション基礎能力
- g. 自主的・継続的学習能力
- h. 与えられた制約の下で計画的に仕事をすすめまとめる能力